



多治見市政記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和6年1月29日(月)岐阜県発表資料			
所属	担当課	担当者	電話番号
東濃県事務所	環境課	大塚 和彦	代表 0572-23-1111 (内線 212) FAX 0572-25-0079

新丸山ダム建設事業の関連工事予定箇所における 土壤環境基準の超過について

国土交通省中部地方整備局新丸山ダム工事事務所(以下「新丸山ダム工事事務所」という。)が、新丸山ダム建設事業の関連工事である地すべり対策工事の予定箇所において、対策工法の検討にあたり事前に土壌を調査したところ、土壤環境基準を超える「ヒ素」が検出されたため、本日(1月29日)、新丸山ダム工事事務所から東濃県事務所に報告がありました。

1 報告内容

(1) 調査地点

瑞浪市日吉町地内

(2) 調査結果の概要

土壤溶出量調査

項目	調査 検体数	基準超過 検体数	調査結果 (mg/L)	土壤環境基準 (mg/L)	基準 超過倍率
ヒ素	6	1	0.001 未満 ~0.041	0.01 以下	4.1 倍

※ヒ素以外の有害物質7項目についても調査を実施していますが、基準超過はありません。

2 汚染の原因

自然由来による汚染の可能性が高いと考えられますが、現時点では不明です。

なお、周辺地域には、ヒ素を原料に使用する工場・事業場はありません。

3 今後の対応

(1) 地下水調査について

「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、基準超過地点から半径250mの範囲を調査したところ、井戸がないことを確認しているため、周辺の地下水調査は実施しません。

(2) 汚染土壌の対策について

今回、基準超過した箇所については、新丸山ダム工事事務所による地すべり対策工事が行われないとの報告を受けておりますが、必要に応じて、汚染土壌の適正な管理等が講じられるよう新丸山ダム工事事務所に助言していきます。

【ヒ素に関する説明】

「ヒ素」は金属と非金属の両方の性質を持つ半金属元素であり、合金の添加材（硬さを高めるため）、半導体の原料、ガラスの消泡剤や脱色剤、花火の着火剤、塗料用の顔料、木材の防腐剤等に使用されています。また、ヒ素は地殻の表層部には重量比で0.0005%存在し、水中や土壌中、岩石、大気中に広く存在しています。ヒ素に汚染された井戸水の飲用による慢性の中毒症状としては、皮膚の角質化や色素沈着等が報告されています。

参考：化学物質ファクトシート-2012年版-（環境省発行）